

北海道支社庁舎 地質調査業務

特記仕様書

令和6年5月

東日本高速道路株式会社 北海道支社

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 北海道支社庁舎 地質調査業務

1-1-2 施行箇所 札幌市厚別区

1-1-3 主な履行内容

内訳書の項目	数 量	備 考
調査業務 調査ボーリング φ 6 6	(10m+10m) × 7 箇所	鉛直下方、ノンコアボーリング 砂・砂質土+礫混じり土砂
調査ボーリング φ 8 6	(10m+10m) × 1 箇所	鉛直下方、ノンコアボーリング 砂・砂質土+礫混じり土砂
標準貫入試験	(10 回+10 回) × 7 箇所	砂・砂質土+礫混じり土砂
技術業務 調査ボーリング解析 設計打合せ	160m × 1 か所 1 式	

調査位置については、別途、監督員より指示するものとする。

1-1-4 調査期間 契約保証取得の日の翌日から210日間

1-2 適用する共通仕様書

適用する共通仕様書は「調査等共通仕様書」令和5年7月版（以下「共通仕様書」という。）とする。

1-3 成果品

本業務の成果品は、以下のとおりとする。

項 目	業務管理者	備 考
報告書（紙）	1 部	ファイル製本
報告書（電子データ）	1 部	電子納品形式（PDF）

なお、上記報告書には下記に示す内容を含むものとする。

・調査位置図 ・報告書 ・現場作業写真 ・柱状図 ・土質標本

1-4 調査目的

本調査の目的は、建物の基礎形状の検討に使用するものである。

1-5 調査時期

調査後は速やかに試験データ（速報値）を主任補助監督員に提出するものとする。

1-6 打合せ

本業務における打合せの回数は、調査前に1回、調査後に1回の計2回とし、場所は北海道支社とする。なお、調査後の打合せの際には成果品提出予定物の内容確認を受けるものとする。

1-7 掘進の完了

受注者は、ボーリングの掘進が設計図書または監督員の指示による深度に達した場合、その深度付近における地層・地質の状況、N値等を監督員に連絡し、掘進の終了あるいは継続について監督員の指示を受けるものとする。

1-8 足場仮設

足場仮設は、平坦足場とする。

1-9 補足事項

1-9-1 地下埋設物の確認等について

- ①地下埋設物がある場合については、貸与された資料等を確認のうえ、詳細については、埋設物の管理者及び監督員と受注者の立会のもと、現地で確認するものとする。
- ②本調査に近接する地下埋設物がある場合は、監督員の指示によるものとする。
- ③地下埋設物の詳細位置については監督員から指示が無い限り、試掘で確認するものとする。
- ④試掘については、原則として以下のとおり行うものとする。
 - 1) 試掘位置及び試掘方法は、埋設物管理者及び監督員の指示により決定し、費用は別途精算するものとする。
 - 2) 試掘による埋設物の確認は、埋設物管理者及び発注者の立会のもと実施する。
 - 3) 試掘の結果によって埋設物の位置が不明の場合は、埋設物管理者及び監督員に連絡し、その指示に基づき、必要な追加調査等を実施する。
- ⑤地下埋設物に近接して施工を行う際には、公衆災害等の事故防止対策を実施するものとする。

1-9-2 調査方法等

受注者は調査を行う前に、作業方法、期日及び仮設方法等について監督員と十分な打合せを行なうものとする。

1-9-3 監督員との協議等

調査を実施するにあたり監督員と協議等が必要になった場合は、調査等打合簿（共通仕様書様式第1-4号）によるものとする。

1-10 業務実施中の安全の確保

受注者は、業務の実施に使用する車両について、一般の車両と区別するための措置を講じておくものとする。

1-11 計画工程表

1-11-1 計画工程表の記載事項

受注者は、共通仕様書1-14-1に示す作業計画書の計画工程表の作成にあたっては、次の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。

受注者は、完了時期の明示にあたって、発注者または監督員が行う協議や共通仕様書1-22に規定する打合せの実施時期についても十分検討し、計画工程表に記載するものとする。また、共通仕様書1-9-4に定める照査計画を盛り込むこととする。

なお、作業単位の設定は、下表を標準とするが、計画工程表の提出にあたって監督員と受注

者とで協議のうえ、決定するものとする。

工 種	作業単位	備 考
調査ボーリング	m	
土質・岩石試験	シリーズ	
調査ボーリング解析	m	
打合せ	一式	
報告書作成	一式	

1-1-1-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は都度、計画工程表に作業の実施状況を記載し、監督員に報告するものとする。なお、受注者は、前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-2-9-1 に準じた協議のうえ、必要に応じ共通仕様書 1-1-4-3 に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。

1-1-2 打合簿の作成及び提出について

受注者は、共通仕様書 1-2-2 「打合せ」にあたっては、打合せ前に打合せ項目を整理すると共に、打合せ終了後、速やかに調査等打合簿（共通仕様書様式第1-4号）を作成し、監督員に記載事項についての確認を得るものとする。清書した打合簿は、電子メールによる伝達とし、受領者は受領欄に押印したうえで、発議者に電子メールで返送の上保管するものとする。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の内容

本業務は、北海道支社庁舎改築事業において、建物基礎形状の検討に得るために実施する調査である。調査の実施にあたっては、共通仕様書第3章「土質地質調査」を適用する。

2-2 調査ボーリング

2-2-1 ボーリング箇所

調査位置平面図に示す箇所で調査ボーリングを行うことを基本とするが、実施調査計画より構造物、土工の検討の基礎資料を得るに適した調査実施位置を精査し、ボーリング箇所の見直しが必要であると判断された場合は、別途監督員と協議するものとする。

2-2-2 給水等

調査ボーリングにおける掘削は有水ボーリングで行うため、給水（給水管及び給水ポンプ設置、給水タンク等）をしながら行うものとする。給水にあたっては北海道支社敷地内より支給するものとする。なお、給水に必要なポンプ、燃料、給水管及び給水タンクのリースに要する費用は調査ボーリングの各単価に含むものとし、別途支払いは行わない。

2-2-3 調査孔閉塞

調査ボーリング終了後、調査ボーリングのボーリング孔はセメント等で閉塞しなければならない。